



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA REPORT

第147期 年度報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



テイカ株式会社

証券コード:4027

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は平成25年3月31日をもって、第147期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)を終了いたしましたので、決算の概況などにつきまして、ご報告申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 清野 學



当期の業績について

当期は事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動を展開いたしましたが、チタン鉱石価格の高騰に伴う製造コストの上昇があり、利益を圧迫する結果となり、当期の連結業績は、売上高347億7千8百万円(前期比0.9%増)、経常利益は28億1千7百万円(前期比17.5%減)、当期純利益は17億2千3百万円(前期比0.9%減)となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり6円とさせていただきました。

次期の見通しについて

今後の経済見通しにつきましては、円安による輸出環境の改善や消費税率引き上げ前の駆け込み需要から、回復基調で推移するものと期待されています。しかし、原油価格の上昇や新興国経済の減

速懸念などもあり、不透明な状況が続くものと考えられます。

当社グループを取りまく事業環境は、まず、酸化チタンに関しましては、円安の進行に伴う鉱石・重油価格の上昇や世界的な供給過剰等により収益面は厳しいものと予想しています。

一方、微粒子酸化チタンおよび表面処理製品は、世界的な紫外線対策への関心が高まり、UVカット剤としての需要が旺盛で、国内外ともに更なる市場拡大を予想しています。

界面活性剤に関しましては、国内洗剤市場の需要拡大が見込めない一方で、東南アジアでの洗剤市場は成長が著しく、タイの連結子会社

(TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.)の設備は昨年3月に増強後、既にフル生産に近い状況にあります。

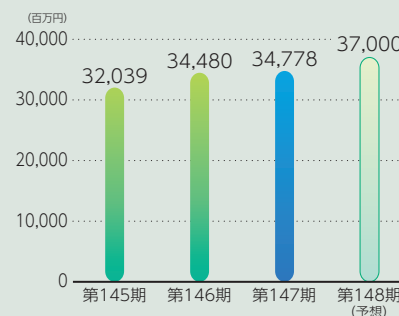
以上から、次期の連結業績につきましては、現時点で売上高370億円、経常利益28億円、当期純利益17億円を見込んでおります。

なお、次期の配当金につきましては、現時点で当期と同様に1株当たり6円を予定しております。

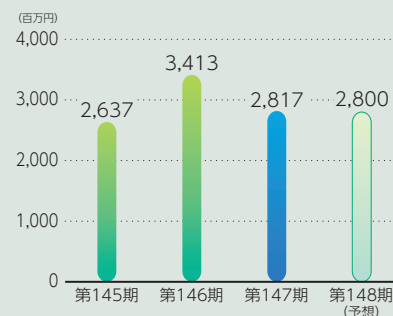
株主の皆様におかれましては、当社の事業にご理解を賜り、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 財務ハイライト

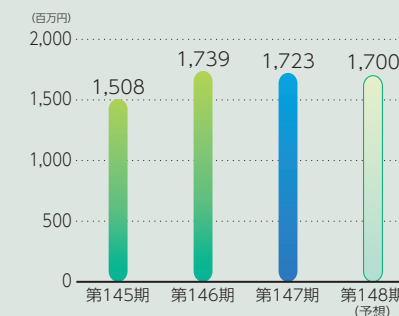
■ 連結売上高



■ 連結経常利益



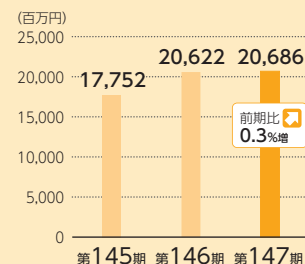
■ 連結当期純利益



酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、期前半は国内の塗料・インキ向けの販売が堅調に推移したものの、期後半は国内外の需要が低迷し、通期の売上高は前期並みとなりました。

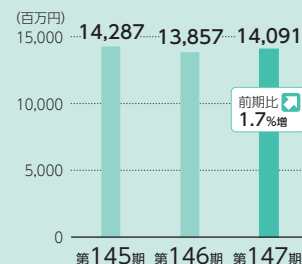
機能性用途の微粒子酸化チタンは、欧州向けの輸出が経済状況の悪化の影響を受け減少、売上高は前期を下回りました。表面処理製品は、化粧品向けの拡販に努めたこと等により、引き続き堅調に推移いたしました。



酸化チタン
関連事業
20,686百万円
(59.5%)

セグメント別
売上高構成比

その他事業
14,091百万円
(40.5%)



主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)

その他事業

界面活性剤は、概ね順調に推移し、販売数量、売上高ともに前期並みを維持いたしました。海外の連結子会社の販売は引き続き好調に推移し、売上高は前期を大きく上回りました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期並みを維持いたしました。

無公害防錆顔料は、欧米向けの輸出が円高の影響を受け、また、導電性高分子酸化重合剤は、販売価格の下落等により、売上高はそれぞれ前期を下回りました。

倉庫業は荷扱量の減少により、売上高は前期を下回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は、医療用向けの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) 朝日商運(株)
化学工業薬品等の輸送、保管	TAYCA (Thailand) Co.,Ltd.

UV A防御性能に優れた微粒子酸化亜鉛「TMZシリーズ」を開発

当社は、日焼け止め化粧品の原料向けに、世界的な紫外線防御ニーズに照準を合わせた新たな微粒子酸化亜鉛「TMZシリーズ」を開発いたしました。

高度な粒子制御技術を駆使することで、高い透明性を維持したまま、肌のシワやたるみの原因となるUV A (紫外線A波) に対する優れた防御効果を実現しており、同効果を示す国内最高レベルの表示として、本年1月より新たに追加された「PA +++」にも対応可能な製品です。黄味がかかった粉体色(写真参照)のため、肌に馴染みやすいという特長も備えています。



▲ TMZシリーズ

「THE 世界一展～魅せますニッポンの技と人～」に出展



当社は、うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」イベントラボで現在開催されている「THE 世界一展～魅せますニッポンの技と人～」に微粒子酸化チタンを出展しています。

同展は、日本が世界に誇る技術や人を紹介するもので、当社は日焼け止め化粧品の原料として微粒子酸化チタンを世界に先駆けて開発し、世界トップクラスの生産量を誇っております。

近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

- 会期：2013年9月1日(日)まで
- 場所：うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」イベントラボ
- 主催：一般社団法人ナレッジキャピタル
- 企画協力：日本科学未来館

THE
世界一
展

オフィスにあるティカの製品

ティカの製品はわたしたちが働くオフィスの中でも、
さまざまな製品に使用されています。
その一部をご紹介します。

窓

遮熱フィルムには
赤外線遮蔽酸化チタン
ブラインド、カーテンには
光触媒用酸化チタン
が使われています。

照明

照明器具には
酸化チタン
LED照明器具には
導電性高分子用薬剤
が使われています。

オフィススペース

デスク、キャビネットには
酸化チタン
無公害防錆顔料
パソコンには
導電性高分子用薬剤
カラーコピー機・プリンターのトナーには
微粒子酸化チタン
表面処理製品
が使われています。

外壁

外壁には
酸化チタン
赤外線遮蔽酸化チタン
光触媒用酸化チタン
が使われています。

ロビー・給湯室

床材には
酸化チタン
各種洗剤には
界面活性剤
が使われています。

応接室

液晶テレビ、タブレット端末には
導電性高分子用薬剤
空気清浄器には
光触媒用酸化チタン
壁紙には
酸化チタン
光触媒用酸化チタン
界面活性剤
が使われています。

連結貸借対照表

科 目	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
1》資産の部		
流動資産	25,055	25,221
現金及び預金	3,308	5,491
受取手形及び売掛金	10,719	11,157
商品及び製品	5,912	5,127
仕掛品	552	524
原材料及び貯蔵品	3,849	2,349
繰延税金資産	208	252
その他	504	321
貸倒引当金	△0	△1
固定資産	16,117	15,748
有形固定資産	9,932	10,080
建物及び構築物	4,045	4,170
機械装置及び運搬具	4,029	3,728
土地	1,245	1,224
建設仮勘定	297	643
その他	314	312
無形固定資産	135	195
投資その他の資産	6,049	5,472
投資有価証券	5,443	4,624
長期前払費用	254	276
繰延税金資産	48	265
その他	328	329
貸倒引当金	△26	△23
資産合計	41,173	40,970

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
2》負債の部		
流動負債	8,257	9,958
支払手形及び買掛金	3,477	4,808
短期借入金	659	456
1年内返済予定の長期借入金	1,454	1,411
未払法人税等	339	764
賞与引当金	324	374
その他	2,002	2,142
固定負債	5,088	5,247
長期借入金	2,390	2,586
繰延税金負債	82	—
長期未払金	28	102
退職給付引当金	2,487	2,557
環境対策引当金	99	—
負債合計	13,346	15,205
3》純資産の部		
株主資本	25,874	24,450
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	9,792	8,367
自己株式	△540	△539
その他の包括利益累計額	1,844	1,226
その他有価証券評価差額金	1,868	1,333
為替換算調整勘定	△24	△107
少数株主持分	107	88
純資産合計	27,826	25,765
負債純資産合計	41,173	40,970

連結損益計算書

科 目	当期 (平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)
売上高	34,778	34,480
売上原価	27,185	26,312
売上総利益	7,593	8,167
販売費及び一般管理費	4,805	4,704
営業利益	2,787	3,462
営業外収益	168	135
営業外費用	138	184
経常利益	2,817	3,413
特別利益	1	—
特別損失	123	346
税金等調整前当期純利益	2,695	3,067
法人税、住民税及び事業税	901	1,181
法人税等調整額	63	136
法人税等合計	964	1,318
少数株主損益調整前当期純利益	1,731	1,749
少数株主利益	8	10
当期純利益	1,723	1,739

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当期 (平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△151	3,377
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,710	△1,831
財務活動による キャッシュ・フロー	△348	△1,473
現金及び現金同等物に係る 換算差額	26	△19
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△2,183	53
現金及び現金同等物の 期首残高	5,412	5,359
現金及び現金同等物の 期末残高	3,229	5,412

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1》資産

資産合計（総資産）は、たな卸資産の増加により、前期末に比べ2億2百万円増加して411億7千3百万円となりました。

POINT 2》負債

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少により、前期末に比べ18億5千9百万円減少して133億4千6百万円となりました。

POINT 3》純資産

純資産合計は、当期純利益による利益剰余金の増加により、前期末に比べ20億6千1百万円増加して278億2千6百万円となりました。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	22,822	23,453
固定資産	14,891	14,626
有形固定資産	8,265	8,520
無形固定資産	102	149
投資その他の資産	6,524	5,956
資産合計	37,714	38,080
負債の部		
流動負債	6,561	8,698
固定負債	4,771	4,878
負債合計	11,332	13,576
純資産の部		
株主資本	24,510	23,167
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	8,428	7,084
自己株式	△540	△539
評価・換算差額等	1,870	1,335
純資産合計	26,381	24,503
負債純資産合計	37,714	38,080

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)
売上高	28,962	29,338
売上原価	22,073	21,855
売上総利益	6,888	7,483
販売費及び一般管理費	4,411	4,404
営業利益	2,477	3,078
営業外収益	281	228
営業外費用	124	189
経常利益	2,633	3,117
特別利益	1	—
特別損失	127	341
税引前当期純利益	2,507	2,776
法人税、住民税及び事業税	794	1,045
法人税等調整額	70	136
法人税等合計	865	1,181
当期純利益	1,641	1,594

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

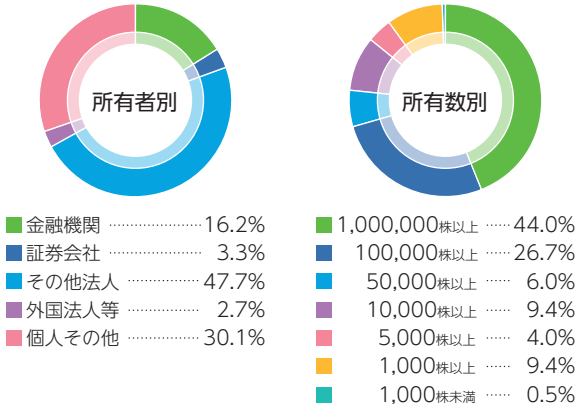
(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	5,069名
大株主	

株主名	所有株式数(千株)
双日株式会社	4,957
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイカグループ持株会	1,966
関西ペイント株式会社	1,224
住友商事株式会社	1,000
日本生命保険相互会社	909
日本土地建物株式会社	750

(注) 当社は自己株式1,798千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要

(平成25年6月27日現在)

設 立	大正8年12月
資 本 金	9,855,953,999円
従 業 員	474名(平成25年3月31日現在)
事 業 内 容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面处理製品、無公害防錆顔料ほか)

事 業 所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)
本 店	大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場	〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員	代表取締役社長 清 野 學
代表取締役専務取締役	古 城 康 治
専務取締役	名 木 田 正 男
取締役相談役	竹 内 千 秋
取締役	吉 岡 亨
取締役	山 崎 博 史
取締役	辺 見 武 志
取締役	村 上 雅 彦
取締役	下 道 博 司
取締役	秋 川 正 博
常勤監査役	飯 沼 文 博
常勤監査役	平 岡 延 元
監査役	山 田 裕 幸
監査役	田 中 等

(注) 常勤監査役 飯沼文博ならびに監査役 山田裕幸、田中 等の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所に対して山田裕幸、田中 等の両氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 公告掲載URL http://www.tayca.co.jp/ (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降の当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。



<http://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。